

## 「良いことを学んで実践しよう」

### 保険代理店として、地域にできること

寒河江さくらんぼロータリークラブの今年のテーマ「良いことを学んで実践しよう」。この言葉、シンプルだけど深いですね。私たち保険代理店も、日々の仕事の中で学んだことを、地域のためにどう活かせるかを常に考えています。

### 交通安全チラシの配布とその背景

たとえば、交通事故を少しでも減らしたいという思いから、地域の皆さんに向けて交通安全のチラシを配っています。事故の傾向や注意ポイントをわかりやすくまとめて、「なるほど、気をつけよう」と思ってもらえるよう工夫しています。

実は、令和5（2023）年には全国の交通事故件数が前年比で約7,000件以上増加し、死者数・負傷者数ともに上昇しました。これは平成16年以来、19年ぶりの増加傾向です。特に高齢者の事故割合が高く、地域の安全意識を高める必要性がますます強まっています（内閣府「令和6年交通安全白書」より）。

こうした背景も踏まえ、私たちは保険の現場で得た知識を「良いこと」として学び、それを地域に還元する実践として、交通安全啓発に取り組んでいます。

### 防災士資格の取得と地域支援

また、社員が防災士の資格を取って、地域の防災訓練や避難所のサポートにも関わっています。

「防災士って何？」と思われる方もいるかもしれませんが、防災士は災害に備えて正しい知識と行動力を持ち、地域や職場で防災・減災活動を担う人のことです。講座を受けて災害対応や避難行動を学び、試験に合格することで認定されます。民間資格ですが、自治体や企業でも広く活用されていて、地域の安心づくりに欠かせない存在です。

保険業務で培ったリスク対応力を、災害時の現場でも活かすことで、「学びを実践する」姿勢を形にしています。

### 「四つのテスト」と職業倫理

ロータリークラブの「四つのテスト」も、私たちの仕事にしっかり根付いています。

テスト項目	実践とのつながり
① 真実かどうか	正確な情報を伝えること
② みんなに公平か	一人ひとりに寄り添った提案
③ 好意と友情を深めるか	地域との信頼関係づくり
④ みんなのためになるか	安心を届ける活動や支援

保険の仕事って、契約や保障だけじゃなくて、「人の暮らしを守る」という大きな役割があります。だからこそ、学んだことを実践する姿勢が大事なんだと考

えます。

## 最後に

「良いことを学んで実践しよう」。このテーマを胸に、寒河江さくらんぼロータリークラブの会員として、そしてひとりの職業人として、地域のためにできることを一つずつ積み重ねていきたいと思います。保険代理店としての経験を活かしながら、ロータリアンとしての誇りを持って、これからも前向きに取り組んでいきます。